

会 議 要 旨

会議名	平成30年度 館山市立博物館協議会
開催日	平成31年1月25日(金) 午後1時25分～午後3時30分
開催場所	館山市立博物館本館 集会室
出席者	館山市立博物館協議会委員 梶山林繼 清本正人 金房努 石井則子 館山市教育委員会 教育長 出山裕之 館山市教育委員会教育部 生涯学習課長 岡田 賢太郎 博物館長 溝江 晃 博物館庶務係長 小林俊彦 館山市経済観光部 観光みなど課みなど係 副主査 平野守
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 館山市教育委員会 出山教育長あいさつ3 館山市立博物館協議会 梶山会長あいさつ4 議事<ol style="list-style-type: none">(1) 館山市立博物館事業について 説明：博物館 小林係長<ol style="list-style-type: none">①平成30年度館山市立博物館事業実施状況について<ul style="list-style-type: none">・展示事業，教育普及（講座，教室等）事業・入館者数，観覧料歳入・新規購入資料の紹介②平成31年度館山市立博物館事業計画<ul style="list-style-type: none">・主な展示，教育普及事業(2) “渚の駅” たてやま（渚の博物館）事業について 説明：観光みなど課 平野副主査<ol style="list-style-type: none">① “渚の駅” たてやま整備経緯②渚の博物館，渚の駅入館者数③イベント等実施状況，来年度計画<ul style="list-style-type: none">・たてやま海まちフェスタ・渚の教室・その他（VR＝ヴァーチャルリアリティによる海観察、さかなくんギャラリーのリニューアル 他）5 報告 八犬伝博物館（館山城）指定管理者制度導入について 説明：博物館 溝江館長，小林係長<ol style="list-style-type: none">(1)導入する目的(2)指定管理者による八犬伝博物館運営の概要(3)導入スケジュール，委託料

6 閉会

【質疑応答・意見等】 (◎委員質問・意見 ●回答)

博物館事業関連

◎地域の文化や歴史に詳しい地元の人を紹介してもらうことは可能か。

●学芸員の普段の調査、研究から、情報の蓄積、ノウハウは持っている。博物館に問い合わせる欲しい。

◎「昔の暮らし」は、生徒の引率で実際に参加したことがある。学芸員の説明が分かりやすく、大変素晴らしい。

◎入館者数は昨年に比べ減少傾向にあるようだが、理由はあるか。

●今後、1月～3月まで昨年度と同人数の入館者があると仮定すると、平成30年度総入館者見込数は、前年度に比べ約5千程度少なくなる試算である。

統計調査を行っていないので、あくまでも博物館側の推測に過ぎないが、昨年度から実施している城山公園駐車場の一部有料化（バス有料）も理由の一つとして考えられるのではないか。

◎渚の駅たてやまのレクチャールームは借用可能か。

●海に関する事業であるならば可能。

◎渚の駅たてやまで実施される教室等の運営経費はどうなっているか。

●材料費などの目的で、参加費を徴収している。一部、ビー玉など在庫品を使用している。また、講師側からの材料提供もある。

◎渚の駅たてやまの資料保管方法（第1収蔵庫の扱い）には注意を払って欲しい。

●現在は常時観覧自由としているが、例えば、常時締切りとし、期間限定あるいは不定期に、学芸員の説明を付けて内部公開するなどの方法もあると思われる。

指定管理制度関連

◎導入後の業務評価、モニタリングは大切である。公立博物館としての要素は残すようにされたい。

◎大手の会社なら学芸員も手配することは出来るようだ。

◎公園と一体で運営するとのことだが、公園業務重視の運営に偏らないだろうかと思う。

◎観覧料金が上昇することもあるのか。

●運営にあたっては、事前に市側との協議が必須条件となる。指定管理側からの一方的な料金設定などは無い。